

認知症施策を推進する体制構築 ～あんしんして暮らせる地域づくり～

1 概要

2025年には、高齢者の5人に1人が認知症になるとの推計があります。認知症になっても、住み慣れた地域で「あんしんして暮らせる地域づくり」に向けて、認知症施策の推進体制を強化し、各種施策を一体的に進めます。

2 取組の内容

(1) 認知症施策を推進する体制の強化

認知症地域支援推進員が専念できる環境整備など、体制の強化を図ります。

(2) 認知症施策の推進

- ① 認知症の理解促進に向けた取組を強化します。
- ② チームオレンジの推進をはじめ、地域における支援体制の構築を進め、より身近なサポート環境を整えます。
- ③ 認知症の方やご家族の意向に寄り添った効果的な支援を実施するための検証や新たな取組の検討を行います。

(3) もの忘れ予防検診の推進

- ① 西東京市医師会との連携により、検診実施医療機関の拡大や検診の周知を図るとともに、高齢者の一般健康診査と連携するなど、受診しやすい環境づくりを進めます。
- ② 認知症への理解促進や、早期発見・対応の重要性などの普及啓発を推進します。

3 予算額（案）

- ・ 認知症検診推進事業費 1,517万円
- ・ 認知症施策推進事業費 4,884万円



【問い合わせ先】 健康福祉部 高齢者支援課（TEL：042-420-2811）

資料のポイント

（チームオレンジとは）

- | | |
|------|--|
| 根拠 | 認知症施策推進大綱 |
| 概要 | 本人・家族のニーズと、認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みです。 |
| 支援内容 | 外出支援、見守り、声かけ、話し相手、認知症カフェの同行支援等の個々への援助のほか、地域の見守り、集う場づくり等、地域の課題に応じた支援です。 |
| その他 | 認知症サポーター・ボランティアの活躍の場になります。 |

